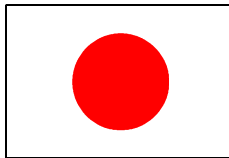




# リマ日通信



平成27年度  
リマ日本人学校  
学校だより  
11月号

## 学校にランクはあるか

学校長 渡辺常彦

二学期も終了します。6年生はいよいよ小学部の卒業後の進路選択に向けて大詰めとなってきました。

よく進学先の学校をどこにするのか、学校の「よしあし」が話題になります。

「この学校はランクが上」「あの学校はだめ」とか。少なくともこういう話題は、多くの人々の間で表だって話されることは少なくとも、暗黙の了解のようにして、あるいは常識のようにして、存在しているのは事実です。



では、学校にランクはあるのか。私の結論から申しますと、これは「あります。」と言わざるをえません。校長がそんなことを言っているのか、と思われるでしょうが、現実として、どうしても認めざるをえない状況でもあります。

ただ、誤解しないでいただきたいことは、「入試の難しさ」イコール「学校のよしあし」ではない、ということです。

以前、「おくりびと」という映画がありました。音楽家をめざした青年が、夢破れ故郷にもどり、そこで死体を扱う仕事につく。仕事の内容が内容だけに、最初は忌み嫌い、さげすんでいた本人や周囲の人たち。それでも懸命に仕事を続け、やがて、その仕事を通し、喜んでくれる人たちがいる。だんだんと周囲の見方も変わってくる。本人も誇りをもって仕事する。そんな内容だったかな、と思います。

仕事に貴賤はあるか、ということについて考えさせられた映画です。

多くの人があこがれる職業というのがあります。見栄えもよく、給料もいい。反対に、きつい、汚い、危険、と言われる3Kの仕事は嫌われる。

それを貴賤というのであれば、たしかに貴賤はあるのかもしれません。しかし、それは仕事の中身ではなく、それに従事する人の心構えにあるのではないか、と思うのです。

同じように、学校もそうです。どこの学校に進学したかは、重要なことですが、結局、入ってから卒業まで、どんな学校生活を送ったかのほうが、はるかに重要です。その後の人生に大きな影響があるでしょう。

入った学校が、第一志望でなかった、ということと心を腐らせ、以後（どうせ、俺は、私は...）とあきらめる、という姿勢が一番まずい。悔しさをバネにして頑張り、難関の大学に入った例など、数え切れないほどある。失敗を失敗のままにしておくから、失敗なのです。失敗しても、次に成功すれば、最初の失敗は、成功のための布石の一つでしかなかったということです。

だから、学校のランクは一人一人の心構えひとつです。今はただ、今すべきことだけを懸命にやってみようと思いたいと心から願います。



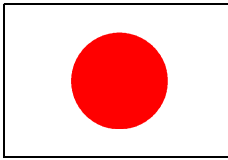
文化祭の全校合奏、和太鼓の迫力に圧倒

### 【今後の行事予定】（一部再掲）

【11月】18(水)～19(木)中12期末テスト、20(金)バス指導、27(金)第2回給食デー、28(土)わくわくタイム「ペルー味の素」、30(月)～12/3(木)個人懇談会【12月】8(木)受胎記念日、11(金)2学期終業式、12(土)夏季休業日始～1月6日(水)まで 以下次号



# リマ日通信



平成27年度  
リマ日本人学校  
だより  
11月号

## <一人一人が耀いた文化祭>

10月31日(土)に2015年度文化祭が実施され、年間スローガン「一致団結!みんな耀けACJ!」に向けて熱演が繰り広げられました。舞台の部では各学年から「くじらくも」(小1)、「三びきのオオカミと大ぶたのゴンザレス」(小2)、「はい、チーズ」(小3)、「夢~ペルーから甲子園へ~」(小45)、「書道パフォーマンス」(小6)、「グッドバイマイ...」(中12)等の劇が発表され、幕間には英語Pの発表や、スライド、動画等の上映があり、続いて全校合唱「マイバラード」全校合奏「sora」が発表されました。また展示の部では、書写、国語、社会、理科、図画工作・美術、技術・家庭、生活、科、総合的な学習の時間(リマソル・リマ英)、学活・道徳の各教科等からの作品が展示されました。ご来賓の皆様、保護者の皆様、ご支援、ご協力をありがとうございました。



リマ日校への思い(卒業学年として)



小1 元気いっぱい 大きな声で



小2 役になりきって感情豊かに



小3 練習の成果がしっかりと出せました



小4・5 将来の夢がみつかりました



小6 気持ちを書で表現しました



中1・2 生きるって何?さすが中学部



中学部美術作品



小学部図工作品



小学部家庭科作品



中学部書道作品

## 第5回非常事態訓練(地震)

11月10日(火)、休み時間に地震が発生した想定で非常事態訓練(避難訓練)を実施しました。地震はいつ起こるか分かりません。学校にいる時に地震が起きたら、指示の放送をしっかりと聞き、あわてず、まず自分の身を守ることを考え行動することを勉強しました。



教室にいた児童は運動場中央に避難開始



中庭で遊んでいた児童は建物から離れ中央に集まる



現地スタッフも全員一斉に避難しました